

# しおんだより VOL.2



## 私たちは感染対策に万全を期します

本格的な冬の到来を前に、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。まさに、非常事態と言える昨今の状況のもと、外来通院中の患者様はもとより、院内の入院患者様の安全性を確保するとともに、当院に関わる全ての方々にご安心いただけるようなシステム作りを目指してきました。

現在、当院には、他の医療機関からご紹介いただく外来患者様や、救急車で搬送される方だけでなく、他の病院での治療を終えられた方、在宅や介護施設で療養中に体調が優れなくなった方など、様々な方がお越しいただきます。現在の大阪府の状況を考えると、場合によっては、新型コロナウイルス感染症の可能性について考慮せざるを得ない方もいらっしゃる事が想定されます。

そのような場合にも適切に対応できるように、救急外来を改装いたしました。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、外来・入院の患者様も安心して当院をご利用いただけるようにと考え、本年11月に救急外来の改装を行いました。

## 患者様への適切な対応と、入院・外来患者様への安心の提供



救急外来にお越しいただいた際に、前室を設けたゾーニングを行いました。

これにより、外来受診にお越しいただいた際に、体調不良等がおありの方や、待合室でお待ちいただくことが適切ではないと判断された方について、診察の前後、および、処方箋発行・会計などの間にお待ちいただけるようになりました。冬場の寒い時期にも、これで安心していただけます。

また、当院での入院に際し、安全性が確認できる迄の間に、診察や処置を行う「第五診察室」を新設いたしました。こちらでは、必要に応じて、点滴をしながらベッドでお休みいただくことも可能です。

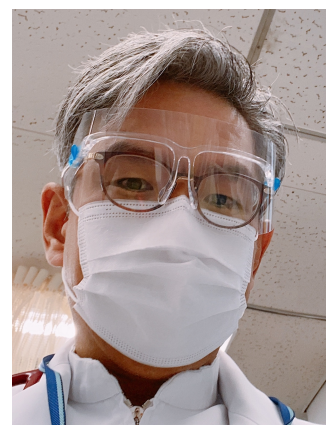
従来、インフルエンザ疑いなどの患者様を診察していた第三診察室に加えて運用することで、より安心・安全に当院での治療を受けていただけるような体制を作っています。



### 今月のキーワード：フェイスシールド

感染対策には、三密を避けることに加え、処置前後の手洗いや手指消毒、使い捨て手袋、マスクに加えて、フェイスシールドの着用も有効です。新型コロナウイルス感染症だけではなく、様々な感染症のリスクが私たちの周りにはあります。特に、医療従事者は自分が感染の媒介をしないように、格段の注意が必要ですし、地域の医療を守るためには、自分自身の感染対策も欠かせません。

最近では、色々な現場で目にすることも増えてきましたが、当院でもフェイスシールドの着用を、場面の応じて行っています。今までは少し違った雰囲気でも、皆様に接することもあります。温かい思いやりを持った精神は変わらずにいますので、どうぞ、ご安心下さいね。



院長 狭間研至

しおんだより 第2号 発行日：令和2年12月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: [www.shion-hp.or.jp](http://www.shion-hp.or.jp)